

日本計画行政学会 第35回全国大会のご案内

■日 時：2012年(平成24年)9月7日(金)～8日(土)、9月9日(日)エクスカーショ

■場 所：岡山大学津島キャンパス (岡山市北区津島中1-1-1)

■大会テーマ：ソーシャルイノベーションと地域再生

3年共通テーマ：ソーシャルイノベーションと計画行政

■大会要旨：

現在の日本は、少子高齢化の急速な進展、グローバル競争の激化、地球温暖化等の問題に加えて、東日本大震災による安全・安心神話の崩壊、エネルギー危機といった新たな課題にも直面しており、経済社会の停滞がさらに長期化・深刻化していくことが懸念されている。日本計画行政学会では、我が国が閉塞感を打破し、新たな持続的発展の基盤を構築していくためには、ソーシャルイノベーションによる国家デザインの改革が急務との認識に立ち、2011年度に始まる3年間の共通テーマを「ソーシャルイノベーションと計画行政」とした。

2012年の日本計画行政学会第35回全国大会は、中国支部が担当し、「ソーシャルイノベーションと地域再生」をテーマとして、岡山大学において開催する。今大会では、第34回全国大会で明らかにした「ソーシャルイノベーションと計画行政のフロンティア」に関する諸課題をふまえて、地域再生に焦点を当て、大都市圏および地方圏におけるソーシャルイノベーションを具体的にどのように促進していくかについて、理論的考察のみならず、様々な実践例をふまえた活発な議論が展開されることを期待する。また、地方圏での全国大会開催であることをふまえ、地方都市や中山間地域の持続的発展に向けて、地域資源や地域の担い手を最大限に活用した地方におけるソーシャルイノベーションのあり方についても明らかにしたい。

■大会役員組織体制

大会会長	松水 征夫	広島経済大学 教授
大会組織委員長	阿部 宏史	岡山大学 教授
副委員長	吉田 義宏	広島経済大学 教授
大会プログラム委員長	戸田 常一	広島大学 教授
副委員長	近藤 光男	徳島大学 教授
委員	難波 義郎	近畿大学 教授
委員	日隈 健壬	広島修道大学 教授
委員	藤井 輝明	福山市立女子短期大学 教授
委員	平尾 元彦	山口大学 教授
委員	近藤 明子	四国大学 講師
委員	氏原 岳人	岡山大学 助教
大会運営委員長	澤 喜司郎	山口大学 教授
副委員長	厚母 浩	広島経済大学 教授
大会事務局長	伊藤 敏安	広島大学 教授
副事務局長	氏原 岳人	岡山大学 助教

■費用：(参加費等は、大会当日受付にて申し受けます)

参加費	一般会員	5,000円 (研究報告要旨集代1冊含む)
	学生会員	4,000円 (研究報告要旨集代1冊含む)
	非会員	6,000円 (研究報告要旨集代1冊含む。参加のみの場合は、4,000円)
懇親会費	4,000円 (予定)	
エクスカーショ参加費	4,000円 (予定) (往復交通費、昼食代を含む)	

*シンポジウム、講演会のみを聴講される一般市民の方は無料です。直接会場にお越し下さい。

■プログラム

【第1日目】 9月7日(金)	
10:00-12:00	研究報告Ⅰ、ワークショップⅠ
13:00-13:20	開会式
13:20-14:20	大会記念講演 「地域再生とまちづくり」 小嶋光信(両備ホールディングス株式会社 代表取締役会長(CEO))
14:30-16:00	シンポジウム 「ソーシャルイノベーションと地域再生」 パネリスト： 鎌倉 秀章(中国経済連合会 専務理事) 高次 秀明(岡山市 経済局長) 古市 大藏(岡山商工会議所 副会頭) 池田 満之(NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」 推進会議(ESD-J) 副代表理事) 伊藤 敏安(広島大学 教授) コメンテーター： 小嶋 光信(両備ホールディングス株式会社 代表取締役会長(CEO)) 細野 助博(中央大学 教授) コーディネーター： 阿部 宏史(岡山大学 教授)
16:15-16:45	学会賞授与式
16:50-17:30	計画賞の紹介・報告
17:40-18:10	総会
18:30-20:00	懇親会
【第2日目】 9月8日(土)	
9:00-10:30	研究報告Ⅱ、ワークショップⅡ
10:45-12:15	研究報告Ⅲ、ワークショップⅢ
13:15-14:45	研究報告Ⅳ、ワークショップⅣ
15:00-16:30	研究報告Ⅴ、ワークショップⅤ
16:45-17:30	閉会式
【第3日目】 9月9日(日)	
09:00-16:30	エクスカージョン 「犬島アートプロジェクト」 瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台として、(株)ベネッセホールディングスと(財)直島 福武美術館財団が展開するアート活動のうち、犬島アートプロジェクト「精錬所」を訪問し、 「産業遺産・建築・現代アート・環境」による新たな地域創造のモデルを視察します。

■プログラム・会場の構成

	創立50周年 記念館	一般教育棟							ピーチ ユニオン
		A31	A32	A34	A35	A36	A37	A21	
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	
9/7 (金)	10:00- 12:00	A-1 国土・ 地域計画	A-2 まちづくり I	A-3 公共事業	A-4 地域活性化	A-5 行政・政治	A-6 (WS-1) 計画行政学の原点と未来 (10:30-12:30)	A-7 (WS-2) 東日本大震災・原発事故後のFUKUSHIMAの現 状と課題	
	13:00- 13:20	開会式							
	13:20- 14:20	大会記念講演							
	14:30- 16:00	シンポジウム							
	16:15- 16:45	学会賞授与式							
	16:50- 17:30	計画賞の紹介・報 告							
	17:40- 18:10	総会							
	18:30- 20:00								懇親会
	9/8 (土)	9:00- 10:30	B-1 地方行政	B-2 まちづくり II	B-3 ソーシャル・イノベ ーション	B-4 エネルギー			B-7 (WS-3) 東日本大震災での漁港漁村の復旧復興構想立 案と実現における課題と解決策
10:45- 12:15		C-1 環境・共生 I	C-2 地域経済	C-3 住民参加 I	C-4 都市計画 I	C-5 (WS-4) コモンズの視点による 持続可能な地域づくり ～アグリ・コミュニテ ィビジネスの新展開		C-7 (WS-5) 計画理論研究からの東日本大震災の復旧・復 興への提言	
13:15- 14:45		D-1 環境・共生 II	D-2 中山間・過疎地 域	D-3 住民参加 II	D-4 都市計画 II	D-5 交通・物流 I		D-7 (WS-6) コモンズの視点によるソーシャルイノベー ションの展望～震災復興と地域再生	
15:00- 16:30		E-1 環境・共生 III	E-2 防災・減災	E-3 NPO・コミュニティ	E-4 都市計画 III	E-5 交通・物流 II	E-6 (WS-7) 瀬戸内海における海上交 通の課題と地域資源活用 のためのあり方	E-7 (WS-8) 気候変動問題への対応による地域再生の可能 性	
16:45- 17:30								閉会式	

第1会場 国土・地域計画 (A-1)

座長 阿部 宏史(岡山大学)、有馬 昌宏(兵庫県立大学)

A-1-1 政策論議における論者の変数選択と因果関係の判断に関する一考察：戦後の国土政策を事例に

○ 金 昶基(東京大学都市工学専攻 特任研究員)

A-1-2 広域都市圏形成に向けたイノベーション創出の空間的分布に関する研究

○ 林 和眞(東京大学工学系研究科都市工学専攻 博士課程)

城所 哲夫(東京大学工学系研究科都市工学専攻)

大西 隆(東京大学工学系研究科都市工学専攻)

A-1-3 制度的・地理的隔絶要素を含む地域における地域間親密度の可視化

○ 南 博(北九州市立大学 准教授)

小林 隆史(東京工業大学大学院 特任助教)

古藤 浩(東北芸術工科大学 准教授)

大澤 義明(筑波大学大学院 教授)

A-1-4 北海道新幹線開業による鮮魚運搬の可能性に関する実証実験

長野 章(社団法人全日本漁港建設協会)

○ 本松 敬一郎(日本データサービス株式会社)

長野 晋平(日本データサービス株式会社)

石本 竜大(北九州市港湾空港局)

第2会場 まちづくりⅠ (A-2)

座長 坂野 達郎(東京工業大学)、近藤 光男(徳島大学)

A-2-1 ICカード「SAPICA」を活用した「札幌地域ポイント」モデル事業の取り組みについて

○ 吉地 望(旭川大学経済学部 教授)

○ 瀧口 樹良(札幌総合情報センター株式会社地域情報事業部)

A-2-2 地域まちづくりの展開とその支援のあり方に関する一考察

～岡崎市T学区における防犯まちづくりの取り組みを事例として～

○ 吉村 輝彦(日本福祉大学 国際福祉開発学部 准教授)

A-2-3 風土工学に基づくまちづくりプロセスの研究～藤原三代の寺院の建立と現存について～

○ 永山 克男(宮城大学大学院事業構想学 博士後期課程)

風見 正三(宮城大学事業構想学部 教授)

A-2-4 地域づくりにおける無形文化財の保護とその支援のあり方に関する研究

～下伊那地方の人形浄瑠璃の事例より～

○ 瀬田 史彦(東京大学大学院 准教授)

第3会場 公共事業 (A-3)

座長 木谷 忍 (東北大学)、村山武彦 (東京工業大学)

A-3-1 総合評価方式の評価「公共工事の品質確保の促進に関する法律」施行後7年を迎えて

○ 松村 豊大 (徳島文理大学総合政策学部 教授)

A-3-2 インフラ費用と混雑費用を考慮した道路ネットワークの再検討

○ 味水 佑毅 (高崎経済大学 准教授)

A-3-3 PFI事業における“リスク分担の在り方”に関する研究

—民間参加者に対する動向のアンケートを通して—

○ 金 銀河 (明海大学不動産学研究科)

A-3-4 エネルギー政策の持続可能性アセスメント —原発事故後の日本再生に向けた新たな挑戦—

○ 原科 幸彦 (千葉商科大学政策情報学部 教授)

第4会場 地域活性化 (A-4)

座長 大岩 雄次郎 (東京国際大学)、和泉 潤 (名古屋産業大学)

A-4-1 瀬戸内海の水軍に関する歴史的資源の調査とその活用方法について

元岡 敬史 (中国経済連合会 部長)

森永 智絵 (広島県海の道プロジェクトチーム 担当課長)

織田 祐吾 (松山市産業経済部観光産業振興課 専門監)

○ 小早川 隆 (中国電力株式会社エネルギー総合研究所 主席研究員)

A-4-2 高校卒業者の人口社会増減に与える影響に関する男女別、地域別比較分析

○ 長瀬 勇人 (三井不動産株式会社人事部付)

A-4-3 地域資源の活用～岡山市西川緑道公園を事例として

○ 大野 慶子 (岡山市都市整備局庭園都市推進課 主査)

A-4-4 地域活動のプラットフォーム化の条件—NPO法人モモンガくらぶを事例に—

○ 森重 昌之 (阪南大学国際観光学部 准教授)

第5会場 行政・政治 (A-5)

座長 原田 博夫 (専修大学)、吉田 義宏 (広島経済大学)

A-5-1 沖縄の基地問題と地域再生 —普天間基地移設をめぐる鳩山政権の失敗を事例に—

○ 北村 知史 (同志社大学大学院総合政策科学研究科 博士後期課程)

A-5-2 世代間不公平性解消のための投票制度 -被災地における将来人口推計を通して-

○ 小林 隆史 (東京工業大学)

小山 泰代 (国立社会保障・人口問題研究所)

南 博 (北九州市立大学)

大澤 義明 (筑波大学)

A-5-3 省庁・部局横断的なスポーツ予算の検証

○ 宮下 量久 (PHP総研 主任研究員)

藤原 直幸 (笹川スポーツ財団 研究員)

A-5-4 地域政党の実態とその存在条件 —沖縄社会大衆党を題材として—

○ 小林 暢秀 (中央大学総合政策研究科 博士後期課程)

第6会場 計画行政学の原点と未来 (A-6)

司会 城山 英明 (東京大学)

報告 樹下 明 (千葉商科大学)

白波瀬 佐和子 (東京大学)

西川 雅史 (青山学院大学)

平川 秀幸 (大阪大学)

望月 友美子 (国立がん研究センター)

第7会場 東日本大震災・原発事故後のFUKUSHIMAの現状と課題 (A-7)

司会 藤本 典嗣 (福島大学共生システム理工学類 准教授)

報告 藤本 典嗣

首藤 万千子 (NPO 法人プレーパークせたがや 運営委員)

デン ジュ (福島大学共生システム理工学類 修士課程)

川崎 興太 (福島大学共生システム理工学類 准教授)

第1会場 地方行政 (B-1)

座長 吉川 富夫 (県立広島大学)、川崎 一泰 (東海大学)

B-1-1 徴税費の追加的投入によって市町村税収入は増えるか

- 伊藤 敏安 (広島大学地域経済システム研究センター)

B-1-2 政策実現におけるイノベーションに関する事例研究

ー自治体アセットマネジメント導入における長崎県大村市議会の事例研究ー

- 本田 正美 (東京大学大学院学際情報学府 博士課程)

B-1-3 地方自治体の行政評価制度形成過程の現状

～国の行政評価制度の影響～

- 小林 貴 (中央大学大学院理工学研究科)
- 鹿島 茂 (中央大学理工学部都市環境学科)

第2会場 まちづくりⅡ (B-2)

座長 駄田井 正 (久留米大学)、山中 英生 (徳島大学)

B-2-1 ソーシャル・キャピタルを活かした共創的地域マネジメント

- 上野 真也 (熊本大学 学長特別補佐、教授)

B-2-2 地域との心理的な結びつきが景観保護意識に及ぼす影響に関する研究

坂野 達郎 (東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻 准教授)

- 白川 慧一 (東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻 特任助教)
- 望月 徹 (三菱商事)

第3会場 ソーシャル・イノベーション (B-3)

座長 前川 俊一 (明海大学)、若井 郁次郎 (大阪産業大学)

B-3-1 地域コミュニティの活性化と高齢者によるソーシャルイノベーション

- 高松 和幸 (獨協大学経済学部 教授)

B-3-2 文化的要素を活用した地域づくりの多面的効果の創出に関する考察

- 田代 洋久 (大阪市立大学大学院創造都市研究科 客員研究員)

B-3-3 アショカフェローの活動モデルからみた社会起業家の類型

坂野 達郎 (東京工業大学大学院 准教授)

- 福田 弘毅 (東京工業大学大学院 修士課程)
- 朴 堯星 (統計数理研究所 助教)
- 田辺 大 (東京工業大学大学院 博士課程)

第4会場 エネルギー (B-4)

座長 風見 正三 (宮城大学)、瀬田 史彦 (東京大学)

B-4-1 製造業におけるエネルギー効率と集積の経済

- 大塚 章弘 (一般財団法人電力中央研究所社会経済研究所 主任研究員)
- 後藤 美香 (一般財団法人電力中央研究所社会経済研究所 上席研究員)

B-4-2 日本における森林バイオマス資源の利用事例に関する比較研究 ー北海道下川町、岡山県真庭市、大分県日田市を事例としてー

- 張 世峰 (電気通信大学大学院情報システム研究科)
- 山本 佳世子 (電気通信大学大学院情報システム研究科)
- 和泉 潤 (名古屋産業大学)

B-4-3 地熱発電所建設過程における環境社会配慮手続きの実施状況

- 柴田 裕希 (滋賀県立大学)
- 牧優 理乃 (滋賀県立大学)

第7会場 東日本大震災での漁港漁村の復旧復興構想立案と実現における課題と解決策 (B-7)

司会 長野 章 (一般社団法人全日本漁港建設協会 会長)

報告 富田 宏 (株式会社漁村計画 代表)

広島 基 (株式会社データ設計 社長)

中村 隆 (財団法人漁港漁場漁村技術研究所 部長)

山内 繁樹 (株式会社エコニクス)

第1会場 環境・共生Ⅰ (C-1)

座長 押谷 一 (酪農学園大学)、多島 良 (国立環境研究所)

C-1-1 家庭の電気消費量の推計とその実質削減量の評価—流山市の事例研究—

○ 伊藤 勝 (江戸川大学社会学部 特任教授)

葉山 海太 (江戸川大学社会学部 研究生)

C-1-2 地域再生に向けた持続可能な地域づくりの方向

○ 畑中 寛 (熊本大学教養教育機構 非常勤講師)

C-1-3 自治体環境ガバナンスにおける二頭立てモデルの有効性

○ 井関 崇博 (兵庫県立大学環境人間学部 准教授)

第2会場 地域経済 (C-2)

座長 紀伊 雅教 (香川大学)、片山 健介 (東京大学)

C-2-1 産業構造要因と生産性の変化からみた遼寧省産業の課題

○ 李 博 (広島大学大学院社会科学研究科 博士課程後期)

伊藤 敏安 (広島大学)

C-2-2 NPOが地域経済に与えるインパクトの空間的分析～兵庫県を例に

○ 畑 正夫 (兵庫県立大学地域創造機構 教授)

C-2-3 平成19年商業統計調査結果に基づく各県の商店街の分布の比較

○ 池上 政弘 (徳島文理大学専門職大学院)

第3会場 住民参加Ⅰ (C-3)

座長 中庭 光彦 (多摩大学)、鐘ヶ江 秀彦 (立命館大学)

C-3-1 河川整備計画における住民参加のゲーミング・シミュレーションモデルの構築

○ 荒畑 俊治 (名古屋産業大学大学院 博士後期課程)

C-3-2 まちづくりにおけるワークショップの有用性について

○ 磯 君実 (宮城大学大学院 修士課程)

風見 正三 (宮城大学事業構想学部 教授)

C-3-3 コミュニティデザインの現状と課題についての考察

○ 相田 茉美 (宮城大学大学院事業構想研究科)

風見 正三 (宮城大学事業構想学部 教授)

第4会場 都市計画Ⅰ (C-4)

座長 氷鮑 揚四郎 (筑波大学)、正岡 利朗 (高松大学)

C-4-1 公共施設の適正配置に向けた計画策定における情報公開～多摩市施設白書を事例として～

○ 伊藤 洋平 (東京大学 修士課程)

C-4-2 コンパクトシティ政策における居住環境整備の動向分析～仙台市を事例として～

○ 黒澤 宏輔 (宮城大学大学院事業構想学研究科)

風見 正三 (宮城大学事業構想学部 教授)

第5会場 コモنزの視点による持続可能な地域づくり～アグリ・コミュニティビジネスの新展開 (C-5)

司会 大和田 順子 (ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表)

報告 丸田 雅博 (宮城県大崎市 産業経済部長)

岡野 智博 (一般社団法人水辺のユニオン 専務理事)

風見 正三 (宮城大学事業構想学部 教授)

農政担当者 (岡山県) 調整中

第7会場 計画理論研究からの東日本大震災の復旧・復興への提言 (C-7)

司会 山本 佳世子 (電気通信大学大学院 准教授)

報告 和泉 潤 (名古屋産業大学 教授)

若井 郁次郎 (大阪産業大学 教授)

根本 敏則 (一橋大学大学院 教授)

第1会場 環境・共生Ⅱ (D-1)

座長 谷口 洋志 (中央大学)、伊藤 勝 (江戸川大学)

D-1-1 地域ネットワーク組織によるグリーン購入活動推進方法

— 滋賀グリーン購入ネットワークの事例から —

○ 辻 博子 (滋賀県立大学大学院環境科学研究科)

鵜飼 修 (滋賀県立大学全学共通教育推進機構 准教授)

D-1-2 自治体における循環型社会形成推進に係る計画の現状と課題

○ 多島 良 (国立環境研究所)

田崎 智宏 (国立環境研究所)

第2会場 中山間地域・過疎地域 (D-2)

座長 金 昶基 (東京大学)、松村 豊大 (徳島文理大学)

D-2-1 中山間地域における地域再生に向けた新しいコミュニティ形成方策に関する考察

-兵庫県下の地域づくりモデル事業実施地域を事例に-

○ 井原 友建 (特定非営利活動法人地域再生研究センター 主任研究員)

D-2-2 過疎地域におけるソーシャルキャピタルの役割—北海道の場合

○ 小林 好宏 (一般財団法人北海道開発協会 会長)

D-2-3 荒廃する森林とその対策

○ 片野 洋平 (鳥取大学)

第3会場 住民参加Ⅱ (D-3)

座長 中庭 光彦 (多摩大学)、鐘ヶ江 秀彦 (立命館大学)

D-3-1 持続可能な地域農業のための“提案型”ゲーミングによる実験的研究

○ 木谷 忍 (東北大学大学院農学研究科)

伊藤 航平 (東北大学農学部)

長谷部 正 (東北大学大学院農学研究科)

安江 紘幸 (東北大学大学院農学研究科)

D-3-2 ミニ・パブリックス型討議環境は参加者の討議的合理性を高めるか?

坂野 達郎 (東京工業大学大学院 准教授)

○ 松本 卓也 (東京大学)

D-3-3 森林計画策定における市民参加の取り組みに関する研究—市町村森林整備計画に着目して—

○ 柴田 裕希 (滋賀県立大学 助教)

皆川 良太 (滋賀県立大学)

第4会場 都市計画 II (D-4)

座長 伊藤 敏安 (広島大学)、戸田 常一 (広島大学)

D-4-1 我が国における創造都市政策の現状と特性に関する比較考察

- 立花 晃 (兵庫県立大学大学院 博士後期課程)
- 福島 徹 (兵庫県立大学)

D-4-2 Sustainable Tokyo? (Re)Building a world class city in the new context of globalization

- ラファエル ランギュイヨン (リュミエール・リヨン第2大学)

D-4-3 都市のコンパクト化は望ましいのか? -地代に着目して-

- 関口 駿輔 (法政大学大学院)

第5会場 交通・物流 I (D-5)

座長 川上 洋司 (福井大学)、近藤 明子 (四国大学)

D-5-1 発展途上国における運輸交通に関する制度の整備のための考察(5)

- 金子 彰 (東洋大学 教授)

D-5-2 中国地方の緊急時における物流基盤のあり方に関する調査について～東日本大震災を踏まえて

- 藤井 幹人 (中国経済連合会 部長)
- 小早川 隆 (中国電力株式会社エネルギー総合研究所 主席研究員)
- 戸田 常一 (広島大学大学院社会科学研究科 教授)

D-5-3 自転車の短時間駐輪に関する一考察 (JR 国立駅南口における社会実験をもとに駐輪対策を考える)

- 橋本 悟 (一橋大学大学院商学研究科 特任講師)

第7会場 コモنزの視点によるソーシャルイノベーションの展望～震災復興と地域再生 (D-7)

司会 風見正三 (宮城大学事業構想学部 教授)

報告 矢部 拓也 (徳島大学大学院 准教授)

木下 斉 (エリア・イノベーション・アライアンス 代表)

東海林 伸篤 (世田谷区)

大和田 順子 (認定NPO 法人JKSK 理事)

菊池 宏子 (クリエイティブ・エコロジー 代表)

第1会場 環境・共生 III (E-1)

座長 谷口 洋志 (中央大学)、伊藤 勝 (江戸川大学)

E-1-1 エコロジカルプランニングの活用方法の現状と可能性について

- 近藤 卓 (宮城大学大学院事業構想学研究所 博士後期課程)
- 風見 正三 (宮城大学事業構想学部 教授)

E-1-2 わが国のフードバンク活動の実態分析

- 原田 佳子 (NPO 法人あいあいねっと 理事長)

E-1-3 民間企業の緑化活動とその推進方策に関する研究—経済産業大臣表彰工場を事例として—

- 信谷 美智子 (独立行政法人国立病院機構岩国医療センター付属看護学校 非常勤職員)

第2会場 防災・減災 (E-2)

座長 真淵 勝 (京都大学)、香川 敏幸 (慶応義塾大学)

E-2-1 地方分権を基軸にした復興まちづくりの仕組みに関する基本的研究

- 松本 昭 (東京大学大学院工学研究科都市工学専攻)

E-2-2 都市災害情報の蓄積を目的としたソーシャルメディア GIS 構築

- 大熊 健裕 (電気通信大学大学院情報システム学研究所 博士前期課程)
- 山本 佳世子 (電気通信大学大学院情報システム学研究所)

E-2-3 自主防災組織の組織化と機能化の現状と課題

- 有馬 昌宏 (兵庫県立大学応用情報科学研究科 教授)

第3会場 NPO・コミュニティ (E-3)

座長 中村 昌宏 (徳島文理大)、富澤 拓志 (鹿児島国際大学)

E-3-1 農村集落における女性によるコミュニティ・ビジネス立ち上げの要点-全国の先進事例から-

- 丸山 紗千代 (滋賀県立大学環境科学研究科)
- 尾形 文章 (日本通運株式会社)
- 鵜飼 修 (滋賀県立大学全学共通教育推進機構)

E-3-2 市街地における不動産リノベーション市場とコミュニティ形成

- 木下 斉 (一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス)

E-3-3 生物多様性を活用したサステナブル・コミュニティの形成

～宮城県大崎市「蕪栗沼ふゆみずたんぼプロジェクト」を事例として～

- 大和田 順子 (立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 兼任講師)
- 風見 正三 (宮城大学事業構想学部 教授)
- 丸田 雅博 (宮城県大崎市 産業経済部長)

第4会場 都市計画 III (E-4)

座長 伊藤 敏安 (広島大学)、阿部 宏史 (岡山大学)

E-4-1 中国都市部における「城中村」住環境整備事業効果の比較

- 孫 立 (中国・北京建築工程学院城郷規劃学専攻 副教授)
城所 哲夫 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授)
- 大西 隆 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授)

E-4-2 既成市街地における公園緑地のネットワーク化に関する研究

- 今川 友基 (アジア航測株式会社)
- 村橋 正武 (大阪工業大学)
- 山元 陽平 (大阪工業大学大学院)

E-4-3 子育て支援住宅政策の経済的評価に関する考察

- 朝日 ちさと (首都大学東京 准教授)

第5会場 交通・物流 II (E-5)

座長 川上 洋司 (福井大学)、近藤 明子 (四国大学)

E-5-1 モビリティ・マネジメント施策の継続実施の課題

: パース・アデレードの TravelSMART に関するヒアリング調査を通じて

- 菅 正史 (下関市立大学 准教授)

E-5-2 エコ通勤に対する市民意識と実施状況に関する分析

- 加知 範康 (公益財団法人豊田都市交通研究所 主任研究員)
- 國定 精豪 (公益財団法人豊田都市交通研究所 主席研究員)
- 山崎 基浩 (公益財団法人豊田都市交通研究所 主席研究員)

E-5-3 地方鉄道の存廃基準に関する考察

- 板谷 和也 (一般財団法人運輸調査局情報センター 主任研究員)
- 松野 由希 (一般財団法人運輸調査局情報センター 研究員)

第6会場 瀬戸内海における海上交通の課題と地域資源活用のためのあり方 (E-6)

司会 三好 勝則 (工学院大学建築学部 特任教授)

報告 中尾 健良 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング研究開発第1部 部長兼主任研究員)

池田 直太 (国土交通省四国地方整備局港湾空港 部長)

黒田 晋 (玉野市長)

根本 敏則 (一橋大学商学研究科 教授)

コメンテーター 戸田 常一 (広島大学大学院社会科学研究科 教授)

近藤 光男 (徳島大学 教授)

井原 健雄 (香川大学 名誉教授)

第7会場 気候変動問題への対応による地域再生の可能性 (E-7)

司会 田中 充 (法政大学社会学部 教授)

報告 田中 充

木村 浩巳 (法政大学地域研究センター 客員研究員)

増原 直樹 (法政大学地域研究センター 客員研究員)

白井 信雄 (法政大学地域研究センター 特任教授)

馬場 健司 (法政大学地域研究センター 客員研究員)

■会場（岡山大学：岡山市北区津島中1-1-1）への交通案内

利用交通手段	経路等 津島地区
JR	岡山駅西口広場2Fタクシー乗り場から約7分 津山線「法界院」駅：徒歩約10分
JR 岡山駅 ↓ 岡電バス	岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車 ▼ 「岡大西門」で下車 ※所要時間約7～10分 岡山駅東口バスターミナル3番乗り場から【17】系統「妙善寺」行に乗車 ▼ 「岡大西門」で下車 ※所要時間約30分
岡山空港 (航空機) ↓ 岡電バス 中鉄バス	岡山空港2番、3番乗り場から「岡山市内方面」行に乗車 ▼ 「岡山大学筋」で下車、徒歩約7分。 ノンストップ便は「岡山駅」で下車、岡山駅からの各種交通機関を利用
山陽自動車道	岡山ICで降り、岡山市内方面へ国道53号線を直進、 右手に岡山県総合グラウンドの木々が見え始めたら約600メートルで岡山大学筋に。 岡山大学の標識を左折すれば、時計台が正面に見え、岡山大学に到着します。

岡山大学HPより引用

岡電バス 時刻表

<http://www.okayama-kido.co.jp/bus/jikoku.html>

中鉄バス 時刻表

<http://www.chutetsu-bus.co.jp/rosen/rimujin.htm>

宿泊施設情報

おかやま観光コンベンション協会

<http://okayama-kanko.net/sightseeing/stay.php>

おかやま宿ネット

<http://www.okayama-yado.net/yado/index.php>

■会場（岡山大学）案内図

会場案内図

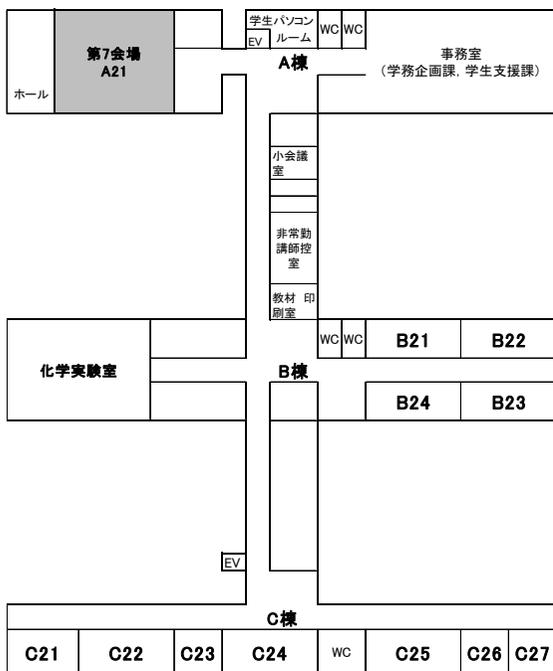
日本計画行政学会第35回全国大会は、岡山大学津島キャンパス一般教育棟ならびに、創立50周年記念館で開催されます。



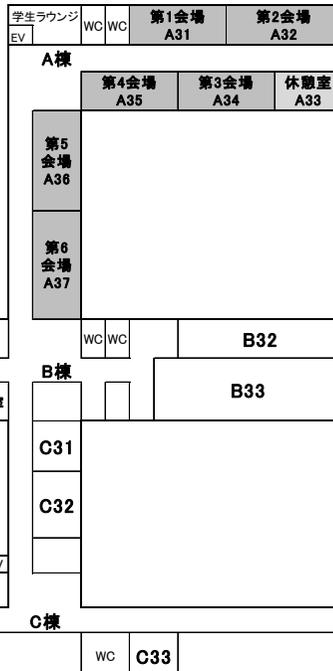
一般教育棟
(受付、発表会場)

受付：A棟1階（正面玄関入口）

2階



3階



■今後の変更は、日本計画行政学会のホームページでお知らせします

日本計画行政学会HP : <http://www.japanpa.jp/>

■日本計画行政学会第35回全国大会に関するお問い合わせ先

岡山大学大学院環境生命科学研究科 阿部 宏史 (全国大会組織委員長)

E-mail : japa2012@cc.okayama-u.ac.jp (ご連絡はなるべくE-mail お願いします)

住 所 : 〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

電 話 : 086-251-8977 / F A X : 086-251-7021

■日本計画行政学会第35回全国大会参加申込書（FAX用）

日本計画行政学会HP（<http://www.japanpa.jp/>）からも申し込めます（推奨）

出席を希望されるプログラムには出席欄に○印をご記入の上、平成24年8月27日（月）迄に、切り取らずこのままFAXしていただきますようよろしくお願いいたします。↓

「日本計画行政学会第35回全国大会」申し込み用紙

岡山大学大学院環境生命科学研究科 氏原 岳人 行

FAX：086-251-8850

（ふりがな） 氏 名	
所 属	
E-mail	@
電 話	
住 所	〒 -
会 員 資 格 （○を付けて下さい）	①名誉会員 ②特別会員 ③個人会員 ④団体・機関会員 ⑤学生会員

【第1日目】 9月7日（金）

内 容	出席欄
研究発表、ワークショップ、講演、シンポジウム等	
懇親会	

【第2日目】 9月8日（土）

内 容	出席欄
研究発表、ワークショップ	

【第3日目】 9月9日（日）

内 容	出席欄
エクスカージョン「犬島アートプロジェクト」	

※参加費等は大会当日、受付にてお支払い下さい。

■日本計画行政学会第35回全国大会参加申込みに関するお問い合わせ先

岡山大学大学院環境生命科学研究科 氏原 岳人(全国大会運営委員会)
E-mail：japa2012@cc.okayama-u.ac.jp（ご連絡はなるべくE-mailでお願いします）
電 話：086-251-8850 / FAX：086-251-8850
住 所：〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1